

# チョーライ病院向け病院運営・ 管理能力向上支援プロジェクト

2018年5月

## 1. クオリティ・マネジメント部長の Tra 医師が第3回閣僚級世界患者安全サミットで発表

医療安全・看護管理 森山 潤

4月13～14日、東京において第3回閣僚級世界患者安全サミットが開催され、国立国際医療研究センター（NCGM）からのオブザーバーとして参加してきました。

同サミットでは、プロジェクトのカウンターパートであるチョーライ病院クオリティ・マネジメント部長の Ton Thanh Tra 医師が、ベトナムにおける患者安全の状況およびチョーライ病院における本プロジェクトの取り組み等について、報告を行いました。

ベトナムにおける医療の質改善の取り組みは、ミャンマー、ラオス、モンゴル等の専門家からの注目度も高く、Tra 医師の発表に対して多くの質問が寄せられていました。



第3回閣僚級世界患者安全サミット会場  
(東京都港区グランドハイアット東京にて)



Ton Thanh Tra 医師による発表

特に、低中所得国における患者安全は重要な課題であり、各国の政策に大きな影響を与えるサミットになったと感じました。

今回のサミットには、WHOやOECD等の国際機関の代表および世界45か国から閣僚や患者安全の専門家等が約500名参加しました。

ベトナム政府からは Nguyen Thi Kim Tien 保健大臣が出席されており、同大臣のスピーチにおいて、特にJICAの取り組みに対し、感謝の言葉が述べられていました。

## 2. 小原博チーフアドバイザーの着任

5月11日より、新しいチーフアドバイザーとして、小原博長期専門家が着任しました。

小原チーフアドバイザーは、これまでバックマイ病院プロジェクトのチーフアドバイザー（2000.7～2002.7）やベトナム保健省政策アドバイザー（2004.7～2007.7）の経験があり、ベトナムでの長期勤務は三度目になります。

5月14日にはチョーライ病院の Son 院長はじめ主要カウンターパートに着任挨拶をし、プロジェクトの進捗の確認を行いました。

今後当面は、小原チーフアドバイザーのもと、黒須専門家（感染管理/看護管理）、森山専門家（医療安全/看護管理）および松本業務調整の4名の専門家チームで活動を展開していくこととなります。



着任挨拶をする小原チーフアドバイザー

小原 博 チーフアドバイザー プロフィール (OHARA Hiroshi, MD PhD)

弘前大学医学部卒業、東京大学大学院博士課程修了(内科学)。国立国際医療研究センター国際医療協力局、ネパール医学教育プロジェクト・チーフアドバイザー、ベトナム バックマイ病院プロジェクト・チーフアドバイザー、ベトナム保健省政策アドバイザー、ミャンマー主要感染症対策プロジェクト・チーフアドバイザー、モンゴル医療従事者のための卒後研修強化プロジェクト・チーフアドバイザー、国立国際医療研究センター国際医療協力局連携推進課長等に従事。現在、長崎大学連携大学院客員教授。2002年、ベトナム政府より国民の健康功労勲章受章。

### 3. 橋本理生短期専門家および忽那賢志短期専門家の活動

5月2～9日、橋本理生短期専門家(国立国際医療研究センター呼吸器内科医師)が来訪し、本年2月における活動に引き続き、主に、チョーライ病院における肺がんに関する多職種連携検討会(Tumor Board)の実施促進にかかる活動を実施しました。

今回は特に、Tumor Boardを組織する担当部署である総合計画部のPham Thanh Viet部長とTumor Boardの運用方法の策定について、具体的な協議を進めました。

今後も、より多くの患者に最適な治療方針を提示するという目的のもと、チョーライ病院の現状に即したTumor Boardのあり方を検討していきます。



総合計画部 Viet 部長と打合せをする  
橋本専門家(左)



General ICU で協議する忽那専門家(中央)

続いて、5月10～17日、忽那賢志短期専門家(国立国際医療研究センター国際感染症センター医師)が来訪し、昨年12月における活動に引き続き、主に抗菌薬ガイドラインの改訂支援、および抗菌薬適正使用委員会に関する助言を行いました。

滞在中、忽那専門家はチョーライ病院内の抗菌薬に関連する各部署の担当者から意見を聴取し、現状の課題を確認するとともに、今後の方針について協議しました。

今回、特に、抗菌薬ガイドラインに関し、微生物情報等をアップデートした改訂版を2019年3月を目標に作成することで合意しました。

### 呼吸器サポートチーム(RST)の活動について

医療安全・看護管理 森山 潤

チョーライ病院では、2017年12月より、呼吸器サポートチーム(RST)の正式な活動を実施しています。

チョーライ病院では1日に140人もの患者が人工呼吸器を使用しています。安全な呼吸器ケアが実施されるよう、人工呼吸器ケアの経験のある医師、看護師、及び品質管理部門、感染管理部門、医療設備部門の職員が、毎週木曜日の午後人工呼吸器を使用している病棟を対象にラウンドを実施しています。



RST ラウンドの様子



ラウンド結果の報告会

3月の会合ではこれまでラウンドを実施した38症例について、結果を協議しました。挿管チューブの固定、カフ圧の適正管理、適正角度のベッドアップ、人工呼吸器の管理、褥瘡管理等について、課題があることが明らかとなりました。

今後も積極的にラウンドを行い、チョーライ病院での標準的な呼吸器ケアが提供できるように取り組んでいきます。

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト

事務所: 10F, Block D, Cho Ray Hospital, 201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam

Tel: 028 3620 5032 (直通) E-mail: chorayjica@gmail.com

ホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/>



(編集責任: 業務調整 松本丞史)